

Calciophylaxis

1 . 概要

長期血液透析中の症例を中心として発症する、難治性の皮膚潰瘍を主症状とする疾患である。

2 . 疫学

年間 5 – 1 0 症例

3 . 原因の解明

基礎病変として皮膚などの細動脈石灰化を認め、創傷などを契機として多発性の微小塞栓を生じ、その結果として潰瘍が形成されることにあると考えられている。さらにその発症過程に炎症機転が関与する事も考えられているが、詳細は明らかではなく、糖尿病性の皮膚潰瘍などと混同される症例も少なくないと想定されている。本研究では、本邦で初めて、全国的な calciophylaxis の発症状況における調査を行い、個々の症例の詳細な検討から、疾患概念の確立と診断基準作成を行うことを目的としている。

4 . 主な症状

全身の皮膚の疼痛をともなう、多発性・難治性潰瘍を主症状としている。

5 . 主な合併症

難治性皮膚潰瘍への細菌感染を生じ、重篤な場合には敗血症を合併する。慢性血液透析患者が大半であるが、一部、リウマチなどでも生じることがある。

6 . 主な治療法

副腎皮質ステロイドの外用、二次性副甲状腺機能亢進症に対する治療、細菌感染を伴う場合は、抗生物質の使用、基礎疾患に対して血液透析

7 . 研究班

Calciophylaxis の診断・治療に関わる調査・研究班